

消防だより

No.109



Tokamachi Fire Department

令和6年2月5日

特集

地域の要！あなたも消防団員に！！

火の取り扱いが多い時期です。
火の用心をお願いします！

消防団は、全国的に減少傾向にあり、当地域も年々減少していますが、**地域にはなくてはならない存在**です。今回はそんな消防団員をサポートする制度や活動などをご紹介していきます。

特集

地域の要！ あなたも消防団員に！！



消防団とは

消防団は、地域の安心と安全を守る大切な役割を担っています。消防職員とは異なり、非常勤特別職の地方公務員で、普段はそれぞれの仕事を持ちながら、災害時には地域を守るため、訓練を行っています。

消防団員 サポート制度

この制度は、地域のために日夜活動する消防団員とその団員を支える家族を地域全体でサポートする制度です。十日町市・津南町の協力店舗(サポートショップ)で消防団員証を提示すると、**商品価格割引等のサービスの提供を受けられます。**



※登録店であることがわかるよう旗を掲示します。

サポートショップへの加盟申込みは消防本部総務課消防関係(757・1556)まで
協力店のメリット

- 店舗の集客効果
- 利用促進
- 地域貢献によるイメージアップ
- 利用促進による店舗の活性化
- 店舗のPR効果



サポートショップ関連ページ



店舗一覧

各店舗でサービス内容は異なりますので十日町地域消防本部ホームページでご確認ください。

主な活動内容

災害時には、消防職員と協力して、消火活動を行ったり、地震や台風の際には、地域の方の避難誘導や救助対応にあたります。平常時には、消火訓練や地域の方への応急手当、防火指導など様々な場面で活動しています。



水防訓練



放水訓練



防火指導

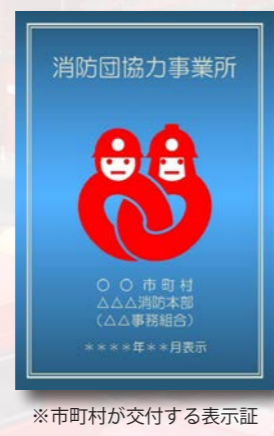


消防団員の報酬等

- 年報酬** 年1回支給される報酬
- 出勤報酬** 災害出勤や訓練・広報活動によって支給される報酬
- 退職報奨金** 消防団員として5年以上勤続し、退団した場合に支給
- その他** 公務災害補償制度・福祉共済制度

消防団協力事業所

「消防団協力事業所表示制度」とは、事業所の消防団活動への協力をとおして、地域防災体制がより一層充実されることを目的としています。認定を受けた事業所は、取得した表示証を事業所に提示でき、自社ホームページなどでも広く公表できます。



※市町村が交付する表示証

認定要件など詳しい内容は十日町地域消防ホームページでご確認ください。



協力事業所関連ページ

(注) 優遇措置については、各自治体により異なります。



消防団員 募集中！！

令和6年1月1日現在で、十日町市・津南町には、消防団員が**2083人**在職しています。消防団へ入団することで、幅広い世代・職種の方とつながることができ、また、防災知識や技術を身につけることができます。少しでも消防団の活動に興味がある方は、十日町地域消防本部又は各分署へお問い合わせください。

- 消防本部 757・1556
- 南分署 765・2480
- しづみ分署 597・2310

新潟県消防団PR動画



男性編



女性編



発見！消防団員！



あなたも
消防団員に！！

数から見える十日町消防

十日町消防

火災

29 件
昨年比+ 11 件

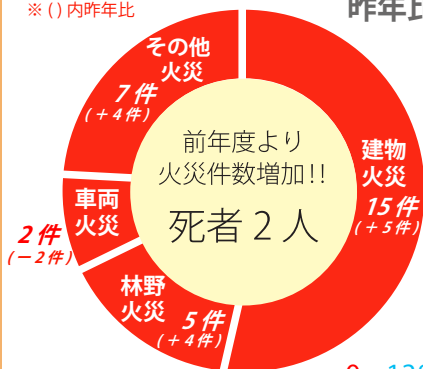
救急

3924 件
昨年比- 49 件

1日に9~10件の救急出動!!

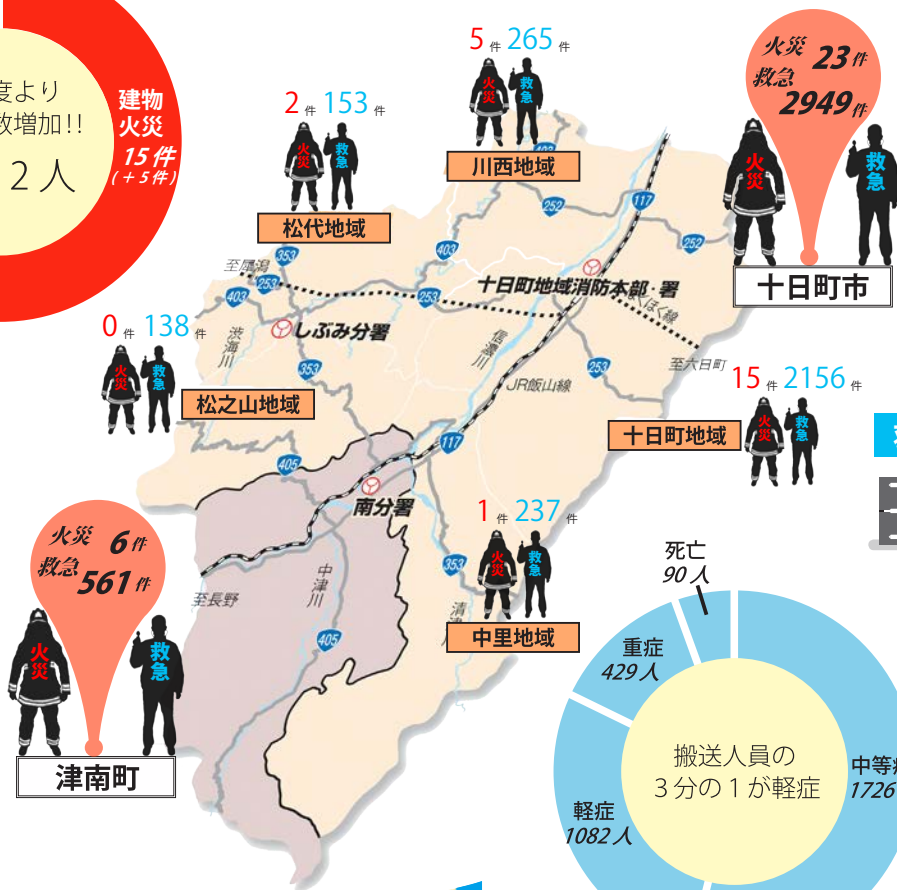
火災種類別

※ () 内昨年比



主な火災原因

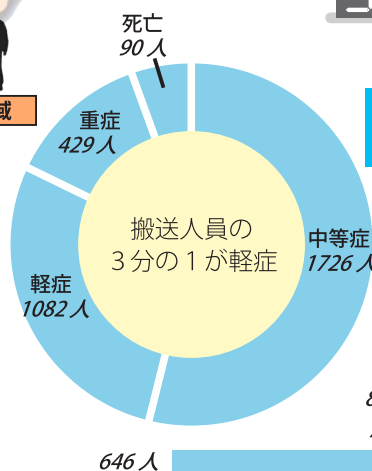
- たき火 (8件)
- こんろ (5件)
- その他 (2件)
- 電気機器 (1件)
- 電気装置 (1件)
- 配線器具 (1件)
- 不明・調査中 (11件)



救急搬送人員

3320 人
昨年比- 54 人

傷病程度別搬送人員



年齢別搬送人員

- 8人 | 新生児
- 82人 | 乳幼児
- 74人 | 少年
- 646人 | 成年
- 2517人 | 高齢者

65歳以上の高齢者が約8割!!

消防だより
火の用心
発行 十日町地域消防本部 千948-0007 新潟県十日町市四日町新田04番地
編集 総務課企画広報係 電話 025(757)0119 FAX 025(757)8499
ホームページ http://www.tokamachi-koukij.jp/ E-mail ttd119@tokamachi-koukij.jp



赤色灯
【緊急消防援助隊として被災地へ出動しました】
令和6年1月1日、石川県能登半島を震源とする最大震度7の巨大地震が発生しました。東日本大震災以来の大津波警報が発令され、津波・家屋倒壊など甚大な被害をもたらしました。
このような災害が発生した際、全国の消防は緊急消防援助隊として被災地へ出動し、当消防も1月15日まで被災地で活動してきました。寒さの厳しい中、現場活動は困難を極めました。全力で任務にあたりました。
職員一同、一日も早い復興を心から祈っております。